

KK INTENSIFIER KANDY KONCENTRATE

一般情報に

Kandy Konzentrate は当社製品のコズミックカラーウレタンエナメル Kandy または、カスタムカラーアクリルラッカー Kandy の色により深みを持たせるためにご利用になれます。Kandy Konzentrate は：

- ・ 作業時間短縮及び材料の減少が可能。
- ・ スピードが重要なオートバイや小さい部品に最適。
- ・ タッチアップに最適。
- ・ Kandy に色合いをつける。例：少量の KK-9 Organic Green Kandy Konzentrate を K-2 Lime Gold Kandy に入れると、綺麗な Lime Green Kandy ができる。
- ・ フレーム、ドアジャム、トランク、ボンネット付近などの隠蔽性を上げるため。トップコートは半分で済む場合もある。
- ・ SG-100 インターコートクリア（ウレタンエナメルトップコートの場合）もしくは、SC-1 サンスクリーンクリア（アクリルラッカークリアの場合）に追加することにより、塗装の厚みを最小限に抑えることが可能。速乾性に優れるため、短時間のうちに多色の塗装が可能。
- ・ 長期間保存が可能。

全塗装の場合は色が長持ちする通常の Kandy を利用することをお勧めします。

重要

希釈にはハウスオブカラー製品のみのご利用をお勧めします。他社製品に当製品を利用する場合は事前に互換性に問題が無いか確認が必要です。

KK についての重要事項

下記に述べる KK はアートワークを上にした場合、染みになる傾向があります。アートワーク前には常に当社のブリードチェックシーラー SBS-10 をお使いください。ブリードチェックシーラーについての詳細はテックシートをご参照ください。

2 液性クリアコートをかぶせても染みの問題は解決しません。

注意が必要な KK 製品： KK-03、KK-05、KK-06、KK-10、KK-13。

KK-18 KANDY PINK についての重要事項

KK-18 Kandy Konzentrate Pink は日射に弱く、できるだけ日射を避けられるような環境でのみお使いください。ショーカーに最適な製品です。

1. KANDY KONCENTRATE の希釈と塗装

一般的には、1 ガロン（約 3.8l）の希釈されていない Kandy に作るには 8 オンス Kandy Konzentrate 2 缶を Klear に入れる必要があります。ウレタンエナメルでの仕上げ：

UC-1、UC-35、UFC-1、UFC-35 もしくは UFC-19 クリアに入れる場合、リデュース剤と硬化剤で希釈し、1 コートご用意ください。

それから、Kandy Konzentrate を 1/2 オンスずつ徐々に加え、かき混ぜ棒で色の度合いを確認します。Kandy についてはテックシートを、混合と使用方法については、クリアに最適なテックシートをご参照ください。

SG-100 インターコートクリアに入れる場合、Kandy Konzentrate を 1/2 オンスずつ徐々に加えてください。SG-100 を 4 コーティング以上塗装するのは、お止めください。全塗装でのご使用はお勧めできません。混合と使用方法については、テックシートをご参照ください。

注：1 対 1 で希釈した状態で Kandy Konzentrate を追加するのが一般的です。



KK INTENSIFIER KANDY KONCENTRATE

アクリルラッカーの場合：

Kosmic Kandy と SC-1 サンスクリーンクリアを混ぜる場合、1クオート作ります。Kandy Konzentrate を 1/2 オンスずつ徐々に加え、かき混ぜ棒で色の度合いを確認します。数回のコーティングで深みのある色出すことができます。Kandy についてはテックシートを、混合と使用方法については、クリアに最適なテックシートをご参照ください。

ドアジャムと外装の色を合わせるには、頻繁に色の度合いを確認するようにしてください。色はすぐに濃くなってしまいますので、もし濃くし過ぎた場合、少量のベースを追加して色あわせをしてください。

基本的な希釈は SG100 と RU 系リデュースは 2 : 1 に対して KK が 40z ですが、2 分の 10z ずつ加え色合いを見て決めて頂いても結構です。硬化剤は入れません。

